

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1259	(H.24)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	森林・里山再生整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	関森 弘康	

会計区分	事業コード	340701
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 農林水産業費	野生鳥獣生息環境創出事業	
項 林業費	(小事業名)	
目 林業振興費	森林・里山再生整備事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	2	森林環境整備
	小施策	2	豊かな森づくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
森林を再生することにより、野生鳥獣が生息しやすい森林環境を創出し、農林業被害の軽減を図る。
事業内容
<p>荒廃して野生鳥獣が生息しにくくなっている森林において更新伐を行うことにより、人工林の下層植生の繁茂や天然林の質的改善、広葉樹の繁茂など、野生鳥獣の生息しやすい森林環境整備を促進し、野生鳥獣による農林業被害を軽減する。</p> <p>また、集落周辺の荒廃した山裾や竹林等において強度の間伐を行うことにより緩衝地帯を造成し、野生鳥獣の隠れ場所の解消を図る。</p>

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	森林再生による野生鳥獣の生息環境創出事業 ・更新伐 2.08ha ・緩衝帯造成 1.65ha 委託料 2425千円				

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	2,426千円				
内訳(千円)					
国・県支出金	1,940				
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 486	0	0	0	0
人工数					
職員	0.02人				
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 154千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 2,580千円	0千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
更新伐及び緩衝帯造成が適切に実施された。事業の性質上、効果の発現に一定の期間が必要であるが、今後の被害軽減が期待できる。	環境整備が整ったことから、今後は様々な主体と連携し、その効果が発揮できるよう継続して取り組むことが必要である。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	森林整備により、豊かな森づくりに貢献した。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	本事業により環境整備が行われたことにより、地元による主体的な獣害の予防・解消に努めている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

〔選択肢〕 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画
整備された環境を維持するため、様々な主体との連携を図っていく。	名張市森林整備計画